

2012年8月号

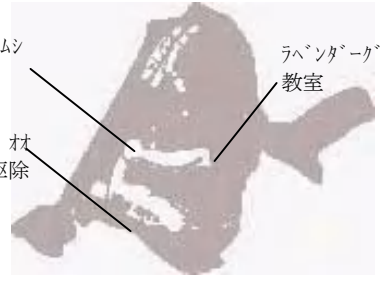
古河総合公園だより

発行日/2012年8月5日 発行者/ (財)古河市地域振興公社 (古河総合公園指定管理者)
住所/〒306-0041 古河市鴻巣 399-1 古河総合公園管理棟
ホームページ/<http://www.koga-kousya.or.jp/koga-park/index.html>

オオマリコケムシ
浮かぶ

ラベンダーグッズ
教室

アレチウリ、オ
ブタクサ駆除



7月1日(土)、7日(日)

管理棟

古河市香り友の会による「ラベンダーグッズ教室」

よくあるご質問にお答えします！

沼に浮かぶ あのフヨフヨはなに？



ラベンダースティック等の作り方を教えてくださいました。部屋の中は爽やかな香りです。両日で参加60名程。



【オオマリコケムシ】

体長1.5mm程の個虫という小生物が集まって、寒天質を分泌して大きな群体となったものです。群体は夏から秋にかけて成長して、大きさ2mを越えることもあります。冬に向けて、水温が低くなると死んで無くなってしまいますが、休芽という1mm程の次の世代を放出します。休芽は冬の寒さに耐えて、翌年、再び水温が上がると、成長を始めます。

ちなみに、オオマリコケムシは、さわっても大丈夫です！

北アメリカ東部原産の生物で、日本では1972年に確認されました。御所沼では、3年程前から見かけるようになりました。

学術的には、触手動物門苔虫(こけむし)綱掩喉(えんこう)目ヒメテンコケムシ科に属する淡水産小動物だそうです。



香りの花束の無料配布サービスもありました。同会で公園駐車場のラベンダーを摘んでリボンで束ねてくださったものです。

◆ 古河総合公園 花ファイル NO.137 ◆

● フレモコウ ●

[科名] バラ科、多年草

[草丈] 50~100cm程

[花] 暗赤紫色で、長さ1~2cmの楕円形の花序をつける

[花期] 8~10月

乾燥させた根茎は、漢方薬で地榆(ちゆ)と呼ばれ、止血剤となる。

園内のもは“もりもりクラブ”が繁殖させているものです。大切に見守ってね。



7月14日(土)

管理棟・全国

夏の植物観察会

公社では、今年度、もりもりクラブの協力で、四季の植物観察会を開催しています。春の観察会(4/14)に続く2回目です。一般参加は6名でした。



もりもりクラブでお世話している野草園では、ちょうどヤブカンゾウが見頃を迎えていました。夏休みの自由研究のネタにと、小学生の参加もありました。

次回、秋の植物観察会は、10月13日(土)です。

7月28日(土)

愛宕川沿い

もりもりクラブ 害草の駆除

里山の保全活動では、野草の繁殖とならんで、厄いな外来種等の除去が欠かせません。今回の作業エリアは、公園の南縁を流れる愛宕川沿いです。この小川は、街から園内に流れ込んでいるので、自然と外来植物も流れ込んで来ます。



今回の除去の対象は、アレチウリやオオブタクサ等です。両者とも繁殖力が強く、あたり一面を覆い尽くして他の植物を追いやってしまいます。種を付け始める前に、除去したいので、どうしても夏の作業となります。また、根っこから抜かなければならないので、なかなかの重労働です。

管理棟で販売中!

古河総合公園生まれのお茶シリーズ



- ・古河総合公園生まれの和風紅茶(50g、500円)
- ・古河総合公園生まれのお茶(100g、800円)
- ・飲んで福呼ぶ古河生まれの七福茶(70g、500円)



<アレチウリ>

北アメリカ原産。ウリ科、つる性の一年草。成長が早く、つるの長さは数十mになることも。一株で種を400~500個付ける。有機質に富んだ水の汚い河川敷に育ちやすい。環境省指定の特定外来生物。



<オオブタクサ>

北アメリカ原産。キク科、一年草。草丈は3m程に達する。河川敷に育ちやすく、アレチウリと共存することが多い。一度生えるとなかなか消えない。花は8~10月に咲き、花粉症の原因となる。環境省指定の要注意外来生物。



古河総合公園ごよみ 2012年9月

太字斜体: 今年の予定

() は過去の記録より



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6 ハギ(2009)	7	8 もりもりクラブ「害草の駆除」
9 ススキ(2010)	10	11 フイリヤブラン(2009)	12	13	14	15 もりもりクラブ「野草園の管理」
16	17 コルチカム(2011)	18	19	20	21	22
23 どろんこクラブ「稲刈り」	24	25	26	27	28	29 ヒカンバナ(2011)
30 十五夜、管理棟でススキ無料配布						